

令和7年度 放射線の健康影響に係る研究調査事業 研究課題一覧(令和7年8月現在)

テーマ1 :線量推計に資する研究

テーマ2 :身体面・心理面の健康に関する研究

テーマ3 :事故による放射線不安への対策に資する研究

テーマR6-1:福島第一原発事故後の長期にわたる低線量放射線の被ばくや避難等の生活習慣の変化による健康影響に関する疫学研究

テーマR6-4:福島県内における地方自治体の復興状況に応じたリスクコミュニケーションに関する研究

テーマR6-5:原子力災害時のリスクコミュニケーションが実施可能な人材を育成するための研究

テーマR6-6:放射線健康影響に係る科学的根拠の構築に資する研究

テーマR7-1:福島県内における地方自治体の状況に応じたリスクコミュニケーションに関する研究

テーマR7-2:福島県内外の若年世代に対する放射線健康不安に係るリスクコミュニケーションに関する研究

テーマR7-3:福島第一原子力発電所事故後のホールボディカウンター(WBC)測定等から得られた知見を今後の原子力防災に活用するための研究

テーマR7-4:福島第一原子力発電所事故時の経験を踏まえた原子力災害時における正しい情報伝達に係る研究

テーマR7-5:放射線健康影響に係る科学的根拠の構築に資する研究

番号	年数	テーマ	研究者名	所属先	研究課題名
1	1	R7-1	前田正治	福島県	持続可能な原子力災害復興のための移住者・帰還者の共生的コミュニティ創生を目指したネットワーク構築
2	1	R7-2	田内広	茨城大学	小学校児童・中学校生徒の放射線に関する知識と意識および放射線研究者による放射線科学教育の効果に関する研究
3	1	R7-3	大葉隆	福島県立医科大学	内部被ばく検査における住民へ寄り添った検査実施方針の検討
4	1	R7-4	鳥居寛之	東京大学	原発事故後の SNS データの分析を基盤とした、行政および科学者からの正確で効果的な情報発信の研究
5	1	R7-5	今岡達彦	量子科学技術研究開発機構	放射線の次世代影響及び生殖影響の感受性に関する研究
6	2	R6-1	北村哲久	大阪大学	福島県内外での疾病動向の把握に関する調査研究
7	2	R6-4	床次眞司	弘前大学	福島県民の放射線被ばくに対する理解向上を目指した自然及び人工放射線からの公衆被ばく線量調査
8	2	R6-5	新井知大	駒澤大学	放射線災害時における職種を横断した風評被害対策に関する研究 ―診療放射線技師及び公認心理師の連携・協働体制の構築―
9	2	R6-6	角山雄一	京都大学	線量率応答性数理モデルによる予測に基づく長期連続照射実験及び最新技術を用いての WGS データ解析によるゲノムへの低線量率放

					射線照射影響の解析
10	3	1・2・3	高村昇	長崎大学	双葉町、大熊町における処理水、除去土壌、廃炉に関するリスク認知評価と、リスクコミュニケーションおよびそれに資する環境放射能評価の推進
11	3	2	佐治重衡	福島県立医科大学	放射線による健康影響不安を考慮した AYA 世代がん患者に対する包括的なピアサポート体制の構築
12	3	3	青柳みどり	中央大学	放射線健康不安にかかるマスメディア報道とその世論への影響に関する調査研究
13	3	1	金ウンジュ	量子科学技術研究開発機構	原子力災害時における被災者の個人被ばく線量把握及び健康管理に資するインテリジェンスデータベースの構築
14	3	3	佐藤美佳	福島県立医科大学	防災士による放射線防災/地域啓発活動モデルの構築と検証
15	3	2	坪倉正治	福島県立医科大学	福島原発事故後の二次的健康影響に関するまとめとその意識調査に基づいた情報発信に関する研究
16	3	3	土田昭司	関西大学	効果的なリスクコミュニケーションの実践に向けた評価手法の開発・検証及び社会実装に向けた提案
17	3	2	大平哲也	福島県立医科大学	原子力発電所事故後の避難住民・帰還住民における健康寿命に関わる震災関連及び身体心理社会的要因についての統合データベースの作成と要因検討
18	3	2	鈴木正敏	東北大学	不溶性セシウム粒子の生物影響に関する理解深化を目指す分野横断共同研究